



ROTARY INTERNATIONAL
DISTRICT 2640



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

夢をかたちに

CONTENTS



2008-09 年度 R I 会長
李東建



ガバナー 勝野 露観

1. ガバナーメッセージ	1～7
2. 『決議 23-34』について	8
3. 会員増強・拡大について	9～10
4. “ ”	11～13
5. ハイライトよねやま	14
6. 文庫通信	15
7. 年間行事予定 8月行事予定表	16

8月は会員増強および拡大月間
(Membership and Extension Month)

2008-2009

8

NO.2



国際ロータリー第2640地区ガバナー事務所

〒640-8215 和歌山市橋丁2-3 サイバーリンクスN-4ビル2F

TEL. 073-428-2640 FAX. 073-428-2643

E-mail: info@rid2640g.org

URL: <http://www.rid2640g.org/katsuno/>

ガバナーメッセージ



国際ロータリー第2640地区
ガバナー 勝野 露観

会員諸兄の皆様、本当に暑い毎日が続いております。御身体を大切にされて、この猛暑の日々をくぐり抜けられん事を祈念しております。過日のクラブ会長会議に御出席たまわり厚く御礼申し上げます。会長の皆様とは、今迄に幾度となくお会い致しておりますので、心より親しみを感じる一日で御座いました。何人かの会長さんより、会長会議に於いて私が話した内容を文章にして欲しいとの要望がありましたので、この月信を借りて皆さんにお伝えする事に致します。その前に伝達事項があります。

先月の7月7日(月)RI会長 李東建氏主催の「会員増強会議」が東京港区台場のホテル グランパシフィック メリディアンにて開催され、日本全国から多数のロータリアン(約 1,200 人)が参加致しました。RI会長としての世界で初めての会議であり「会員増強の必要性を世界中で行脚して説法して歩く」と語られる強い意志と情熱をこめた最高のトップの姿勢でありました。会員増強は各クラブにとって、大きな課題でありまして、会長の皆さんにとって最大の懸案事項の一つでありましょう。会員減少の傾向はここ数年とみに著しくなって来ています。その原因は多々ありますが、結局の処「ロータリークラブに魅力を失った」或いは「ロータリークラブが魅力を失ってしまった」ことに起因するのでしょうか。何故魅力をうしなったのでしょうか！？平たく言うならば、会員がロータリーから、クラブから得るものが皆目なくなってしまい、魅力を感じなくなってしまった故なのでしょう。魅力の無いクラブに入会する者がいないのは当然の成り行きです。会員増強を強力に進める為には、クラブを魅力あるものにする事が最も肝要な事柄です。先ず例会を「楽しい」「役に立つ」例会にする必要があります。その為には例会のプログラムを工夫しなければなりません。例会の要は卓話です。会員のロータリアンに日々体験している職業上の経験、職業を通して得た智慧・人生観などを披露してもらうならば、その話を聞くことによって、聞く側のロータリアンは多くのことを学ぶでしょう。ここに例会出席が会員の義務であることになるのです。出席する事がクラブ奉仕になるのです。また、語る会員は自己の職業を通して、会員に奉仕している事になります。これは職業奉仕です。卓話と出席がクラブ運営の最も大切な出発である事をご理解いただけたでしょうか？そして素晴らしい魅力ある例会をすることによって新入会員をクラブに引きとどめる事になり、新しい会員引き入れる事に結ながるのです。こういう条件を調べて初めて、会員増強に力が入るのだと思っています。会長の皆さんの例会はどうなっていますか？どうか会長の皆さんがこ

の点をよくご理解いただいて、クラブの運営に力を注いでいただきたいのです。以上が会員増強月間の今月に皆さんに御願する事柄です。

それでは先日 7 月 13 日(日)開催いたしました「クラブ会長会議」での私のスピーチの一部を掲載いたします。

リーダーの条件

いよいよ皆さん方の会長年度に入りました。今まで会長エレクトとして 1 年間で過ごされ、様々と本番に向けて準備されて来られた事と推察致しておりますが、その 1 年間もアツと云う間に過ぎ去ってしまいました。その様に会長年度もアツと云う間に過ぎ去ってしまいます。嫌嫌やっても 1 年。情熱を以ってしても同じ 1 年です。同じ 1 年ならば、心を込めて喜んで、楽しんで、夢を持って会長年度を務めていただきたい。そして会長になった事を喜んで下さい！ロータリークラブのプライドと誇りを持っているメンバーの代表者、トップリーダーになった事を喜んで下さい。

皆さん方は、素晴らしい経験をするでしょう！得がたい経験をするでしょう！1 度しかない人生です、2 度とない人生です！そして 1 度しか出来ぬ会長職です。2 回 3 回出来る人は本当にまれな事です。私もガバナーになった事を喜んでいますが、光栄に思っています。ガバナーと云う立場は非常に忙しく、自分の日常生活の全てを、ロータリーの為に奉仕しなければなりません、喜んで楽しむ事にしています。私にはガバナーとしての大きな責任があるのです。ロータリーを素晴らしいものにしたいと云う夢と責務があるのです。会長の皆さん！今までに何回か話をさせていただきましたが、トップの在り方によって、その組織、企業、団体の明暗運命が定まります。素晴らしいトップをリーダーとして持つ事の出来る組織体は、生き生きとした生命と自由闊達な柔軟性を持っていて、未知の分野にチャレンジして行く勇氣を持っています。その反対に素晴らしいトップをリーダーとして持ち得なかった組織はその機能を適正に作動させることが出来ません。悪くゆくと組織の破壊、死に至ってしまいます。昨今の日本の現状を眺めて見ますに、政治の方面に於いては、今、大変な状況になっておいて、人民等しく将来を憂い、不安と恐怖の中に生きておるのに一国のトップリーダーたる総理を始め閣僚の重席に居る者達、政界の大物と言われる古参議員達、皆おしなべて、日本の国の幸福、国民の幸福を考えるより、自己の党利党派の利益を優先させ、政党あって国民なき状態の政治に陥ってしまっている。この如き、トップにふさわしくないリーダーしか持ち得ない我々日本は実に不幸であり、災難であります。『民衆のレベルに応じたトップがリーダーの座に坐す』古来から述べられていますが、確かにそうであって、民衆が今の日本のトップをリーダーとしたのです。今の世界は有史以来、初めての経験をしています。恐ろしい程スピード化した時代に遭遇しているのです。この様な体験は初めてなのです。時代の時の急流・激流の中を巧に舟を移動させるには、ひとえに船長たるトップリーダーの腕にかかっているのです。未熟な名ばかりのリーダーに指導権を渡すならば、舟は転覆してしまい、乗員は悉く死してしまうのです。今日程、リーダー、真のトップリーダーが必要化されている時代はありません。

会長の皆さん！皆さんのクラブを素晴らしいロータリークラブにするか否かは、皆さんの腕にかかっているのです。素晴らしいクラブにしてください。そして多くの新しいメンバーを引き入れてください！魅力ある生々としたクラブにしてください！皆さんの情熱と意志とロマンによってクラブの盛衰興亡が決定されるのです。せっかく会長になられたのですから嫌々やっても一生懸命にやっても同じ1年です。同じ事ならば、会員の皆さんから素晴らしいリーダーだ！素晴らしい会長だと言われる方がより素晴らしいと思いませんか！？会員の皆さんから尊敬され、頼りにされるロータリアンである方がロータリーに居心地が良いと思うのですが。

素晴らしいターゲットを持ちましょう！

((明瞭ですっきりした わかり易いターゲットを定める事が大切です))

まず会員を増やしましょう！不可能と思われても良いではありませんか！夢をターゲットにしましょう！10人、20人の増強！やろうではありませんか。不可能を可能にする事こそ、夢の実現なのです。出来る事、可能な事をターゲットにするのは夢ではありません！努力と情熱を持って前進しようではありませんか！私には夢があります。ガバナーとしての！ロータリーを素晴らしい人々に誇れるものになりたいと云う夢が！メンバーにロータリーに入らせてもらって良かったと言ってもらえるロータリークラブにしたいと云う夢が！人々に憧れられるロータリーにしたいと云う夢があります。質の高い、思いやりと情熱にあふれる会員の集まるクラブであって欲しい。会長の皆さんと共に夢の実現の為に頑張っていきたいと思しますのでご協力の程を切にお願い申し上げます。

今迄、会長の皆さん、ガバナー補佐の皆さん方には幾度となく、私の地区方針、運営方針についてお話をさせて頂いておりますので、今日は別の切り口から話をさせて頂きます。

『リーダーの条件。リーダーの資質』についてトピックとしての大切な心構え、組織の動かし方について、話をしたいと存じます。皆さん方のクラブ運営、会社運営の為に何かの御参考になれば幸いです。

先ず〔組織の動かし方〕

〔リーダーとは！？〕

リーダーの資質

リーダーに必要な資質！

リーダーに先ず求められる事は effective 即ち

生々とした活力のある組織

〃 会社

〃 団体 にする事です。

その為には、リーダーシップが絶対に必要なのです。リーダーシップ(指導力とカリスマ性)のない人がトップにすわると、その会社、その組織は正しく機能しなくなり、ひどくなると死滅してしまうのです。

この事を私の今までの体験から、つくづく身にしみて感じております。素晴らしい組織には素晴らしいトップがおります。一流の会社には一流のトップと一流の社員。二流の会社には二流のトップと二流の社員。三流の会社には三流のトップと三流の社員がおります。三流の会社でありながら、一流の人間は入社してきません。二流の会社に三流の社員は入ってきません。先ず、トップが真のトップリーダーになる事が三流から二流、二流から一流へと会社が発展成長して行く上で必要不可欠な条件だと思えます。

組織の動かし方

①「謙虚である事」

素晴らしい組織、例えばロータリークラブは素晴らしい能力を持っているメンバーが多い。よって常に尊敬の念をもって、接する事が大切です。謙虚な気持ちで接する事が大切であります。

②「コミュニケーション(Communication)をきちっと取る事」

意思疎通が大切です。メンバーと意思疎通をよくはかっておく事が大切です。誤解から大きな災いが生じるから。一般大衆人民の意思を無視し自己の判断・思考を優先させると、災いは自分に及ぶのです。人々の心を無視して行動すると、人々は離れてしまうのです。

③「ターゲットをしっかりと定めること」

その為には、現状分析、市場調査、社員分析をしっかりと徹底的にする事です。

④「人々の心を、意志を、夢を吸い上げること」

そして達成感を与えることが大切です。今の世代の人々は金銭だけで動きません。生きがい、達成感を求めているのです。これが大切です。リーダーにとって重要な心構えです。

⑤「失敗した事実に対してどのように対処するか!？」

トップは感情的になって怒らない事です。「失敗の原因を捜させる事」そして「その失敗の結果がどうなってゆくのか」を共に考える事です。

理解したら、ほめてやる事! 失敗して良かったね! 本当の事を理解したのだからと語りかける事が大切なのです。

「初めての事は誰でも2・3度は必ず失敗するのだから」失敗を責めぬ事なのです。

⑥「命令するのではなく、御願ひする事」

同じ事を指示し言うのに、命令するのと御願ひするのでは全く違った印象を与えるものです。命令されれば反抗心が生まれますが御願ひされると人は自分の存在を認めてくれていると感じ気持ち良く動けるものです。

以上の他に、戦術・戦略的な手法が多くありますが、組織のメンバーがトップに人間的に信頼感と尊敬の念を抱いているのかがより重要であり、その事によって戦術・戦略が効果的に作動するか否かが定まるのです。

さて、いよいよ本題「リーダーの資質について」話を致します。

ロータリークラブのメンバーの皆さんは、その大小はありましようが、いずれにせよそれぞれの組織、企業、団体の代表者であり、指導者の立場にある方が非常に数多くおられます。そして会長の皆さん方は、代表的立場にあるメンバーのロータリアンのリーダーであるのです。つまり、リーダー中のリーダーである事になります。

リーダーに要求される資質、リーダーたる可き条件について、古来より様々と語られて来ておりますが、簡略にして明確であり、核心をついて説いておるのが、真言密教の奥義秘伝書の1つである「菩提心論」であります。菩薩(ブーディー)とは、神の心、神の光、仏の心、仏の光の事でありまして、要するにカリスマの事です。カリスマ性たる神の光、仏の光を心中より呼び出す為の方法論を説いた教えが菩提心論(ボダイシンロン)です。この中にリーダーの必須条件たる5つの条件について記載されております。この教えは実に素晴らしいものであって、世上に流布されておられません。良く服膺されんことを！

『大阿闍梨ノ曰フ。若し上根、上智ノ者有リテ、大度量有リテ、勇鋭無惑ノ者ナラバ、金剛大乘ヲ学ブベシ』

この文です。少し現代的に表現します。「上根、上智の者で大度量有って、勇・鋭・無惑ならば、金剛の如き大きな乗物に乗る事を学びなさい」と云う事です。さて、この文中にある「上根」「上智」「大度量」「勇鋭」「無惑」がトップリーダーの5つの必須条件、要素なのです。この五つを充たす者は金剛のごとき大きな組織、企業を動かす事が出来るのです。5つの方面からリーダーの要素を説いてあります。「心根(精神)」の面。「智性の面」「器量(うつわ)の面」「決断力・決定力(感性)の面」「意志力の面」から見えています。

1. 上根の人である事

まず、第1に「上根の人」であらねばなりません。根というのは根性、心根のことです。心の表面ではなく、心の奥底のことです。心の奥、心の底の問題です。心底がどうか！？と云う問題です。この心底が深い愛情に充満しておって、深い慈しみ、優しさ、思いやり慈悲の人である事が、指導的立場に在る人に最も必須不可欠なことなのです。つまり、上(ハイクラス)の心情の持ち主であらねばなりません。他人の幸福を心から祈念できる人。苦しめる人に対するいたわりの心を持つ人であること。冷酷な人、無慈悲な人、残酷な人に人はついて行きません。この慈しみの愛、慈愛から真の情熱が湧き出て来るのです。この深い愛の心から感謝の心が湧いて来るのです。ロータリーはこの思いやりの心、慈悲の心を最も大切にしています。皆の為になるかどうかを常に考えている人物が上根の人なのです。

第2に「上智の人」であること

上智即ちハイクラス、ハイレベルの智性と知識、広大な智性の持主である事。これは、リーダーの智性の面を表現しております。

ハイレベルの専門的知識の持主をプロフェッショナル(professional)と言います。トップリーダーにはハイクラスの智性知識が要求されます。無知なリーダーは駄目です。よく考え、よく察すると云う基本的能力の持主であり知的向上心の持主でなければなりません。

ロータリーの会長になった皆さんは、先ずロータリーの事をよく勉強して下さい。ロータリーは欧米流のトップリーダーの在り方について述べており、教えてくれます。これは、アメリカ世界、ヨーロッパ世界と付き合っていく上で、非常に参考になります。欧米で一流と言われる人々が何をもち一流と考えておるのか、彼らの世界に於いて、どう云う人物が一流と呼ばれ尊敬されているのかが、ロータリーの教えから学び取れます。その為に、先ずロータリーの教科書である「手続要覧」を読解して下さい。職業奉仕宣言、社会奉仕宣言は彼ら欧米人の職業観、社会観を記述したものであり、理想的職業観、理想的社會観を説いたものです。二つにはアメリカの良心、アメリカの聖なる魂が宿っています。ロータリーの綱領(目的)には、深い信仰心に裏付けられた、深い慈愛の心に裏付けられた思考プロセスがあります。四つのテスト、これも同様の素晴らしいものです。自分の携わる業務立場に関する専門的知識、情報は身につけなければなりません。知りませんと自分の動き方がわからず、各部門のリーダーに的確な指示は出せません。

最近の時代の推移の速さ、その転変の早さ、変化の速さはボヤボヤしておったら、アッ云う間に、時代から、世の中から取り残されてしまいます。又、変化に対応を誤ると、それは破壊であり、破滅であり、倒産であり、死なのです。知識や情報はアッと云う間に古くなります。常に先の先を読み、先の先を考えて、世界の流れを常に観察し考察し、その対応策を考えておかぬと取り残されてしまいます。グローバルな知性が要求されます。よく考えている人物、思慮深い人物、これが「上智の人」

なのです。常に何が真実か、何が偽であるかを考えている人でもあるのです。

第3に「大度量の人」である事

これはリーダーをその器量、器の側面から眺めたものです。大きな度量の持主である必要があります。器量の大きい人物、器の大きい人物である必要があります。

- ・大きな人物になって下さい！それを目標にして下さい。小さなことでイライラしたり、こせこせしたりする事は小さな器量、度量の人物である証明なのです。自分の幸福、自分の欲望のみを第一に考える人物は愛情の少ない人であり、器の小さい人物なのです。度量の大きい人は人物として落ち着いており、堂々としたところ、公正なところがあります。
- ・大きな度量の人物であればこそ、日本全体のこと世界の事が考えられるのです。

第4に「勇鋭の人である事」

これは、感性の面からリーダーを眺めています。

「勇気があって、鋭いシャープな感性、鋭い頭の切れ味のある人物」である。勇気の無い臆病な人は堂々と自分の考え意見を披露する事が出来ませんし、変革、改革はできません。古きを改め、新しく生きる「改古生新」など不可能なのです。未知の世界に立ち向かうには勇鋭であらねばなりません。未知の世界には、恐怖、不安が常につきまっております。勇鋭なリーダーであってこそ、立ち向かえるのです。そして勇鋭であってこそ、決断できるのです。いかに上根、上智な人物であっても勇鋭の心がなければ、実行には移せません。実行できないとどれ程すばらしい理念であろうと、判断であろうと、それは絵に書いたモチにすぎません。

第5に「無惑の人である事」

信念の人である事！一度定めたらトコトンぶれない人物であること。一貫性があります。いかなる事であろうと簡単に事は成就しません。長年の努力と精進、継続が要求されます。ねばり続ける、あきらめない、そしてトコトンやり抜くという無惑、信念の人物。これがトップリーダーに大切な心です。

以上、トップリーダーにとって大切な5つの条件についての教えを皆さん方に披露させて頂きました。この5つの条件はロータリーの教えと裏表になっている事を気づかれた事と思います。以上、菩提心論より引用してお話をさせて頂きました。そして、この書物は古来より日本に於ける、否、東洋に於ける、宰相にとって大切な帝王学の大切な教本でもあったのです。

『決議23-34』について



パストガバナー 中島 治一郎

『決議23-34』が、昨年11月のRI理事会で廃棄され、私達がロータリー運動推進の精神的拠り所として来た非常に重要な決議を失った。

この決議の廃棄提案者の廃棄理由は話にならないお粗末な内容である。2010年の規定審議会での復活を期さねばならない訳であるが、その間、国際ロータリーの主体は各ロータリークラブなのであるから、その間、出来るだけ多くのクラブのクラブ細則に、この決議を掲げ、存続をアピールし、改めて、この決議の内容を吟味し、ロータリー運動の有り方、進め方の哲学として、又指針として重要視する機会として頂ければ幸いである。

泉大津ロータリークラブの細則に記載した決議文には、
「国際ロータリー2007-08年度会長ウイルフ・ウイルキンソン氏並びに国際ロータリー事務総長エド・フタ氏の認可を得たので、、、」と書き入れてあるが、直接会長と事務総長に交渉をして居られない皆様のクラブでは、この文は省かれるべきと思い、下記の文を記した。

ロータリークラブ細則

第8条 四大奉仕部門

四大奉仕部門は、本ロータリークラブの活動のための理念と実践の枠組みである。
それはクラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕である。本クラブは、四大奉仕部門に積極的に取り組むこととする。

決議08-01

国際ロータリー『決議23-34』（クラブ細則末尾に全文掲載）が、2007年11月開催の国際ロータリー理事会に於いて廃棄され、今後歴史的価値を有する歴史的文献としてのみ取り扱われることになった。『決議23-34』の果してきた、そして今後も引き続き果すに違いないロータリー運動の解説書、指導書としての役割の必要性、重要性の大きさに鑑み、忍び難く、『決議23-34』を活きた教訓として採用することを会員一同の賛同を得て、茲に決議する。

上記してある如く、クラブ細則の末尾に『決議23-34』の全文を掲載した。

会員増強および拡大月間に寄せて 「会員基盤の強化は“夢をかたち”にから」



第 2640 地区 PDG 亀岡 弘

ロータリー会員の動向

類い稀な 100 年の歴史を刻み、志を同じくするクラブが、次々に各地に生まれ、国境を超え、2008 年 3 月末現在、200 以上の国と地域に広がり、クラブ数 33,040、会員総数 1,226,142 人となっています。2007～08 年度だけ見れば、本時点では期首当初より 2.65%増加していることは喜ばしいことでもあります。ロータリーの夢を追い続けその夢をかたちにし、順調に成長拡大発展してきたロータリーではありますが、期末になると毎年減少し世界全体ではここ 10 年間会員数は頭打ち傾向となり増加していません。2003 年 6 月 30 日 1,227,545 人（クラブ 31,561）、2007 年 6 月 30 日 1,224,164 人（クラブ 32,943）。特にわが国の会員数の減少は目を覆うばかりで、歯止めがかかっていません。

日 本	クラブ数	会員数	2640 地区	クラブ数	会員数
2003.6.30	2,329	106,944		76	2,927
2006.7.01	2,332	98,737		76	2,586
2007.6.30	2,331	97,241		75	2,448
2007.7.01	2,327	96,777		75	2,448
2008.5.31	2,323	98,176		74	2,451

日本全体の 2007 年 5 月末日には、一時 10 万人を超えましたが、同年 6 月末日には退会者が多く、上記のような結果となりました。本年度の 6 月末日の会員数は現時点では判りませんが、全く予断を許しません。本稿が皆様方のお手許に届くときには増減がはっきりするでしょう。

本年度李東建 R I 会長は会員増強目標として、各クラブで少なくとも 10%の会員純増を図り、各地区で少なくとも 2 つの新クラブを結成するという目標を推奨しています。

ところで、日本の会員の減少は、一時は経済の低迷が原因であったかも知れません。しかしそれだけではないと思います。会員のロータリーへの関心、愛情、情熱が薄れ、自らの組織に

自信と誇りを失いかけているのではないのでしょうか。会員の減少も然ることながら、むしろロータリアンの意識低下に目を向けることが重大事であります。会員の増強には三つの要素があります。

会員基盤の強化

- ①新会員の増強 ②現会員の維持 ③新クラブの結成

会員増強は未来を託する人材を得るための最大の奉仕であり、会員を増やすことは、組織の体力を強化し、財政基盤を確立し、充実した活動を可能にします。そして更に魅力を高めます。今求められる会員増強は、折角入会させた会員をしっかりと受け止める器、いわゆる「ザル容器を陶器・漆器」にすることにあります。そのためには「ロータリー」作りとその充実こそ必要かつ重要であり、それには情報教育を徹底し、例会を瑞々しくし、会員のロータリーへの関心・愛情・熱意を高め、志の高いロータリアンを育て、地域社会に貢献することにあります。ロータリアンの意識低下を向上させることにあります。

会員の維持については、退会理由には、やむを得ないものと回避可能なものとあり、後者が重要であります。勧誘してもすぐ去っていくようでは「ロータリーはザルのようなもの」で、適切な言葉ではありませんが「釣った魚に餌をやらない」ようでは、勧誘した会員も、十分なロータリー理念を享受できないし、またロータリーの価値観を見出すこともできません。理念のない組織は衰退、滅亡してしまいます。

日本では近年クラブ拡大があまり見られません。年に多くても2~3クラブです。拡大すれば確実に会員が増えます。当地区では2000年と2003年に各1クラブが誕生しただけです。拡大委員会を中心に目標と具体的な計画を立て是非推進して頂きたいものです。とにかく単純明快、会員の増加はロータリーの生存にかかわります。

私たちがロータリーに入会したとき、ロータリーの夢を見ていたことと思います。今その夢を現実のもの、かたちにするには会員基盤の強化に他ならないと思います。



会員増強・拡大について

会員増強（退会防止）委員長
小林 信夫



R・I 2640 地区はここ 10 年来毎年大幅な会員減少が続いております。
2007～2008 年度も大変厳しい状況下にあります。

R・I 第 2640 地区 会員の推移

年度	クラブ数	会員数（女性）	増減数（女性）
2000,6,30	75	3,497(123)	— —
2001,6,30	75	3,304(128)	-193 (+5)
2002,6,30	75	3,119(131)	-185 (+3)
2003,6,30	76	2,927(141)	-192 (+10)
2004,6,30	76	2,766(135)	-161 (-6)
2005,6,30	76	2,655(131)	-111 (-4)
2006,6,30	76	2,586(133)	-69 (+2)
2007,6,30	76	2,448(129)	-138 (-4)
2008,5,末	75	2,541(132)	3 (+3)

今年度（2008～2009 年）李 東建 R・I 会長は 10%の会員増強を図るという大変高い目標を
かけ、ロスでの世界大会 又 7 月 7 日の R・I
会長主催会議（会員増強）東京においても、会
員増強を大変強調されております。R・I 会員増
強、会員維持委員長 Ronald L Beaubien 氏も
同行され会員増強の重要性を強調されました。



尚、李 R・I 会長自身、会員増強の素晴らしい実績
を上げられた方です。又 R・I 小沢理事も行動力のある
方で自身のクラブで大きな実績を残されております。

○R・I 会員数	クラブ数	
1,228,810 名	33,049	2008 年 5 月末日
○1-4 (A) ゾーン		
会員数	クラブ数	
98,176 名 (内女性 3,782 名)	2,323	
前年比		
1,399 名 (内女性 262 名増)		2008 年 5 月末日

～ 活動計画 ～

1. 各クラブの会長、幹事、増強委員長は率先して会員増強をお願い致します。
1. ガバナー補佐は各 IM 担当地区のクラブ会長、会員増強委員長と連絡を密にし、会員増強の支援をお願い致します。
1. 各クラブは地域専門職の人数を正確に把握する。
商工会議所、医師会、薬剤師会、JC etc
1. クラブ入会 5 年以上の在籍会員で未だ一名の新入会員のいない方、今年こそは是非お願い致します。
1. 入会金、年会費、経費等、軽減を計り入会のハードルを下げるようご検討お願い致します。
1. R・I 2640 地区の 1 クラブの会員は全国平均より約 9 名少ない 34 名です。
20 名以下のクラブが 13 クラブあります。同一区域内のクラブ交流を図り、統合を進めブランド力を高めて下さい。
1. 女性会員
近年女性の社会進出が進んでおります。R・I 2640 地区にも女性会員が 132 名在籍されております。少しずつ増える傾向にあります。
和歌山地区の「紀の女会」、大阪地区の「輝く女性の集」を中心に女性会員の増強を積極的に進めてまいります。



紀の女会(和歌山地区)



輝く女性の集い

1. 広報、IT、各委員会と連絡を密にし、広くロータリー活動を地域社会に PR する。
1. 新しく作成致しました、新会員勧誘用の小冊子を活用していただき実績を上げて下さい。

ガバナー事務所まで請求下さい。送付致します。

2640 地区の会員の皆様、現在厳しい社会、経済情勢下にあります、ロータリーを愛する会員皆様の熱意と行動力を持って多数の会員獲得をお願い申し上げます。



ロータリークラブへ入会しませんか
今地域のロータリークラブは
新しい会員を求めています

ハイライトよねやま 101号

(財) ロータリー米山記念奨学会ニュース

++ 今月のトピックス ++



2008年7月14日発行

1. 2007-08 年度寄付金結果 — 予算達成！ありがとうございました—
2. 学友からの恩返しが 1000 万円を超えました
3. 台湾学友 16 人が米山梅吉翁の墓参に来日
4. 外務省の招聘で米山学友が来日
5. 仮設住宅の住民へエール — 第 2560 地区米山学友会 —

文庫通信 (251号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

最近のロータリー情報より (2)

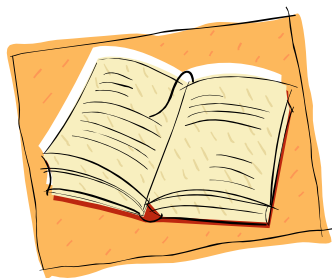
- ◎ 「ロータリーの理想」 ビチャイ・ラタクル (D.2580 地区大会記録) 2008 6p
 - ◎ 「ロータリーの向うべき道 (シンポジウム)」 小沢一彦 (モデレーター)
(D.2780 地区大会報告書) 2008 23p
 - ◎ 「職業奉仕の重要性について (2008年国際協議会レポート)」 渡辺好政
(D.2690 月信) 2008 2p
 - ◎ 「ロータリーの綱領」 鈴木政昭 (D.2800 月信) 2008 2p
 - ◎ 「決議23-34の徹底的解析」 田中 毅 (D.2510 地区大会記録) 2008 8p
 - ◎ 「決議34号」 鈴木政昭 (D.2800 月信) 2008 3p
 - ◎ 「増強はクラブとロータリアンの強化が唯一の方法 それは新会員の意識を高めることから出発する」 服部芳樹 (D.2510 地区大会記録) 2008 5p
 - ◎ 「今だからこそ問う ロータリーとは何か」 深川純一
(D.2830 地区大会記録誌) 2008 8p
 - ◎ 「ロータリーを生きる」 佐古亮尊 (D.2830 地区大会記録誌) 2008 13p
 - ◎ 「CLPとロータリー」 神崎正陳 (D.2500 地区大会報告書) 2007 6p
- [申込先：ロータリー文庫 (コピー)]

ロータリー文庫

〒105-0011

東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3階 TEL(03)3433-6456・FAX(03)3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>



開館＝午前10時～午後5時

休館＝土・日・祝祭日

8 月 会員増強および拡大月間 (Membership and Extension Month)

1日	(金)		
2日	(土)	クラブ会員増強(退会防止)、拡大委員長会議	JR和泉府中駅前 うお健ビル
3日	(日)	2008~09 年度長期受け入れ学生のホストファミリー並びにクラブカウンセラー に対するオリエンテーション	テクスピア大阪
4日	(月)		
5日	(火)		
6日	(水)		
7日	(木)		
8日	(金)		
9日	(土)	夏季休暇	
10日	(日)	↓	
11日	(月)	↓	
12日	(火)	↓	
13日	(水)	↓	
14日	(木)	↓	
15日	(金)	↓	
16日	(土)	↓	
17日	(日)	↓	
18日	(月)		
19日	(火)		
20日	(水)		
21日	(木)		
22日	(金)		
23日	(土)	クラブ青少年・ライラ委員長会議 公式訪問:粉河・岩出RC(夜)	JR和泉府中駅前 うお健ビル 岩出商工会館2F
24日	(日)	2008~09 年度長期受け入れ学生への第1回オリエンテーション・歓迎会 2007~08 年度長期派遣学生帰国報告会 2008~09 年度短期交換学生帰国報告会	テクスピア大阪
25日	(月)		
26日	(火)		
27日	(水)		
28日	(木)		
29日	(金)		
30日	(土)	地区米山委員会会議 地区雑誌・広報委員会会議 公式訪問:岸和田・岸和田東・岸和田北・岸和田南・貝塚・貝塚コスモスRC(夜)	葵茶寮 ガバナー事務所 岸和田グランドホール
31日	(日)		

国際ロータリー第2640地区 ガバナー事務所のご案内

〒640-8215 和歌山市橋丁 23 サイバーリンクス N-4 ビル 2F

T E L (073) 428-2640

F A X (073) 428-2643

E-mail info@rid2640g.org

U R L <http://www.rid2640g.org/katsuno/>

勤務時間 9:00~17:00 (土・日・祝日は休み)

S T A F F 代表幹事 桃田 隆彦

事務職員 山本千恵子 平田有紀子

ガバナー事務所 夏季休暇のお知らせ

8月9日(土)~17日(日)までお休みです

